

平成25年度  
保健所年報

(平成26年版)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

## 三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

総務企画課

TEL 0595-24-8070

健康増進課

TEL 0595-24-8045

地域保健課

TEL 0595-24-8076

衛生指導課

TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/HP/>

〔Eメールアドレス〕 [ghoken@pref.mie.jp](mailto:ghoken@pref.mie.jp)

## 目次

1 管内概況	
(1)伊賀保健所の概要	…… 1
(2)相談等日程	…… 2
(3)管内の状況	…… 2
(4)人口動態統計	…… 6
2 「みえ県民カビジョン」による事業実績	
<b>I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～</b>	
111 防災・減災対策の推進	
11105(災害医療体制の整備)	
1 災害拠点病院	…… 10
113 食の安全・安心の確保	
11301(食品の安全・安心の確保)	
1 食品衛生	…… 11
114 感染症の予防と体制の整備	
11401(感染症予防普及啓発の推進)	
1 感染症の予防事業	…… 13
11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	
1 エイズ対策事業	…… 14
2 結核対策事業	…… 15
121 医師確保と医療体制の整備	
12101(医療分野の人材確保)	
1 管内保健師設置状況	…… 20
2 保健師等研修状況	…… 20
3 看護学生等保健所実習指導	…… 20
12102(救急・へき地等の医療の確保)	
1 地域救急医療対策事業	…… 21
2 救急告示病院	…… 21
12103(医療の質の向上)	
1 医務	…… 22
123 こころと身体健康対策の推進	
12301(健康づくり活動の推進)	
1 健康づくり総合推進事業	…… 23
2 健康食育推進事業	…… 24
3 栄養施行事務事業	…… 25
12302(こころの健康づくりの推進)	
1 こころの健康づくり事業	…… 27
2 自殺予防対策	…… 27
12303(生活習慣病・難病対策の推進)	
1 原子爆弾被爆者対策事業	…… 30
2 難病対策事業	…… 31
3 難病在宅ケア事業	…… 34

## 目次

4	臓器移植啓発事業	……	37
5	ハンセン病啓発事業	……	37
6	骨髄バンク	……	37
134	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保		
13401	(薬物乱用防止対策の推進)		
1	薬物乱用防止対策	……	38
13402	(医薬品等の安全な製造・供給の確保)		
1	薬事	……	40
2	講習会	……	40
3	献血推進	……	43
13403	(生活衛生営業の衛生水準の確保)		
1	生活衛生	……	44
13404	(人と動物との共生環境づくり)		
1	狂犬病予防	……	45
2	動物愛護	……	45
141	介護基盤整備などの高齢者福祉の充実		
14101	(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)		
1	介護保険制度	……	46
14102	(介護基盤の整備促進)		
1	老人保健福祉施設等の設置状況	……	47
142	障がい者の自立と共生		
14202	(障がい者福祉サービスの充実)		
1	障がい者福祉	……	48
14204	(精神障がい者の保健医療の確保)		
1	精神保健福祉事業	……	50
143	支え合いの福祉社会づくり		
14301	(地域福祉活動と権利擁護の推進)		
1	民生委員・児童委員	……	55
14304	(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)		
1	おもいやり駐車場利用証制度	……	55
<b>II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～</b>			
232	子育て支援策の推進		
23202	(母子保健対策の推進)		
1	母子保健事業	……	56
2	母体保護事業	……	58

\* 事業実績は、次ページの「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系に沿ってまとめました。

# 「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系

「みえ県民カビジョン」は、長期的な視点から、三重のあるべき姿を展望し、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示す、平成24(2012)年度からのおおむね10年先を見据えた県の戦略計画です。社会経済情勢の変化に対応し、県民の皆さんと力を合わせて新しい三重づくりをめざそうとするものです。

基本理念の実現に向けて、〈政策展開の基本方向〉(三つの柱)を定めるとともに、その下に16の〈政策〉、56の〈施策〉を位置づけて、県政を推進していきます。

## I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策	施策	基本事業	ページ
1	危機管理		
1	防災・減災対策の推進		
		11105(災害医療体制の整備)	..... 10
3	食の安全・安心の確保		
		11301(食品の安全・安心の確保)	..... 11
4	感染症の予防と体制の整備		
		11401(感染症予防普及啓発の推進)	..... 13
		11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	..... 14
2	命を守る		
1	医師確保と医療体制の整備		
		12101(医療分野の人材確保)	..... 20
		12102(救急・へき地等の医療の確保)	..... 21
		12103(医療の質の向上)	..... 22
3	こころと身体の健康対策の推進		
		12301(健康づくり活動の推進)	..... 23
		12302(こころの健康づくりの推進)	..... 27
		12303(生活習慣病・難病対策の推進)	..... 30
3	暮らしを守る		
4	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保		
		13401(薬物乱用防止対策の推進)	..... 38
		13402(医薬品等の安全な製造・供給の確保)	..... 40
		13403(生活衛生営業の衛生水準の確保)	..... 44
		13404(人と動物との共生環境づくり)	..... 45
4	共生の福祉社会		
1	介護基盤整備などの高齢者福祉の充実		
		14101(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)	..... 46
		14102(介護基盤の整備促進)	..... 47
2	障がい者の自立と共生		
		14202(障がい者福祉サービスの充実)	..... 48
		14204(精神障がい者の保健医療の確保)	..... 50
3	支え合いの福祉社会づくり		
		14301(地域福祉活動と権利擁護の推進)	..... 55
		14304(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)	..... 55

## Ⅱ「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政 策      施 策      基本事業

2 子どもの育ちと子育て

3 子育て支援策の推進

23202(母子保健対策の推進)

…… 56

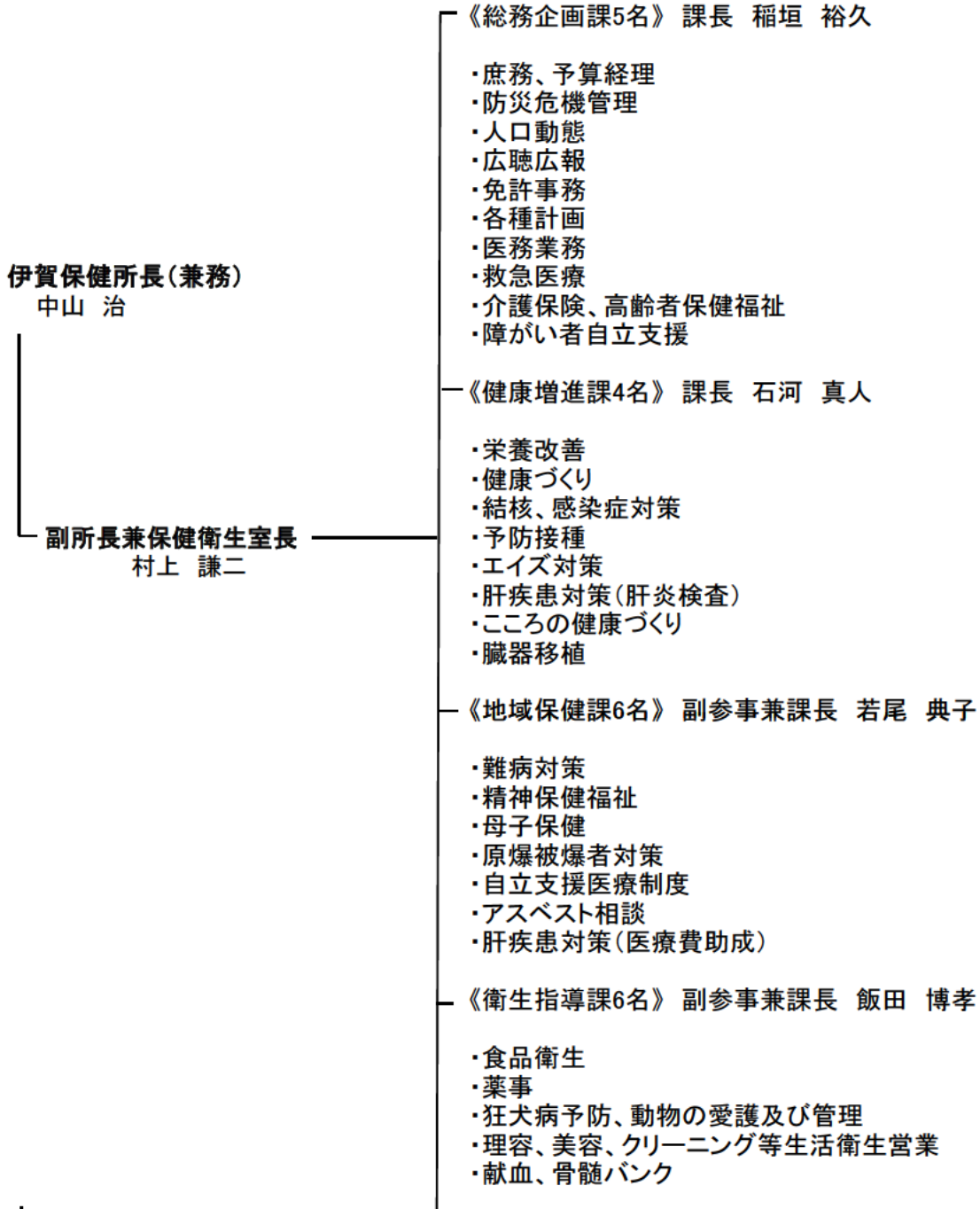
## Ⅲ「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

\* 伊賀保健所に関する事業のみ抜粋しました。

# 1 管内概況

## (1) 伊賀保健所の概要(平成26年度体制)

### 伊賀保健所組織及び所掌事務



(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00～11:00		県 伊賀庁舎
水曜日		精神保健相談(要予約) (第4週) 14:00～16:00	県 伊賀庁舎
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00～12:00		県 伊賀庁舎
	結核検診 (第2・4週)12:30～13:30		県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況

ア 各市の状況

種別 市	平成22年国勢調査		平成25年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	総人口	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )		
計	64,396	177,491	687.93	64,947	173,094	251.6	100.9%	97.5%
伊賀市	34,915	97,207	558.17	34,453	93,849	168.1	98.7%	96.5%
名張市	29,481	80,284	129.76	30,494	79,245	610.7	103.4%	98.7%

\*資料:三重県戦略企画部統計課 平成25年10月1日推計人口

## イ 管内の概況

平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 6 市町村が合併し「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との 2 市体制となっています。

### (ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の西北部、関西圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高 500～800m の山々に囲まれ、総面積は 687.93k m<sup>2</sup>で、県土の約 12%にあたります。

山地が約 62%(421.37k m<sup>2</sup>)を占めますが、盆地内は標高 130～160m で、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、その位置と地形から内陸盆地特有の気候です。気温は年平均 14℃前後で、県内でも比較的低温、寒冷地には当たりませんが、夏と冬や朝と夕の気温差が大きい内陸性気候の特徴を見せています。また、年間降水量は 1,400mm 程度と少なく、地形的な要因から夏期の雷及び春秋の霧の発生が多いところです。

### (イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成 25 年 10 月 1 日現在 173,094 人であり、県の総人口に占める割合は約 1 割です。

昭和 40 年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和 55 年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和 55 年以降の人口の増加が顕著です。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、伊賀地域の人口は平成 12 年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の 65 歳以上の老年人口は、平成 25 年 10 月現在 47,987 人で、総人口に占める割合は、27.7%に達し、全県の老年人口の比率 26.1%を上回っています。

### (ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道 25 号(四日市市～大阪市)、国道 163 号(大阪市～津市)、国道 165 号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道 368 号(伊賀市～多気町)、国道 422 号(大津市～紀北町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ広域農道の伊賀コリドールロードが整備されました。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。



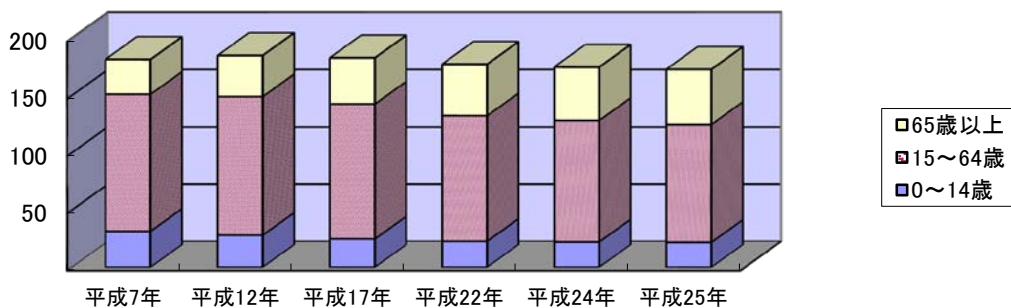


(エ) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成24年 2012年	平成25年 2013年
計	181,348	184,818	182,779	177,491	175,023	173,094
伊賀市 (旧上野市)	60,986	61,493	100,623	97,207	95,243	93,849
名張市	79,913	83,291	82,156	80,284	79,780	79,245
伊賀市 (旧伊賀町)	11,154	11,019				
伊賀市 (旧島ヶ原村)	2,934	2,752				
伊賀市 (旧阿山町)	8,500	8,427				
伊賀市 (旧大山田村)	6,186	5,987				
伊賀市 (旧青山町)	11,675	11,849				

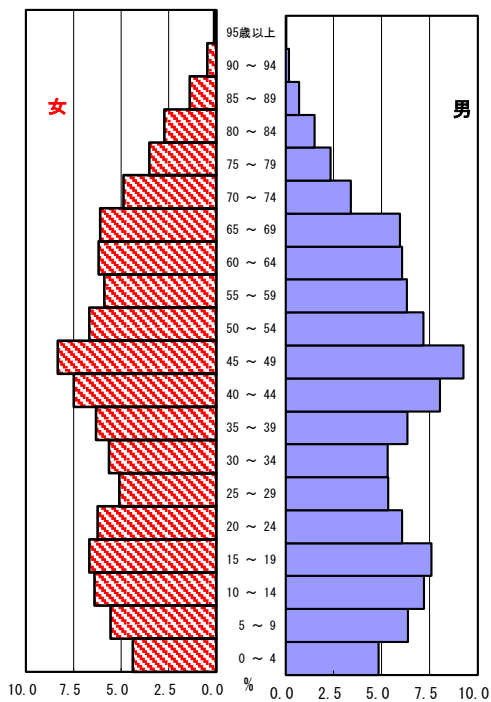
\*資料:平成7年～平成22年は国勢調査、平成24～25年は三重県戦略企画部統計課推計人口

3区分別割合の推移

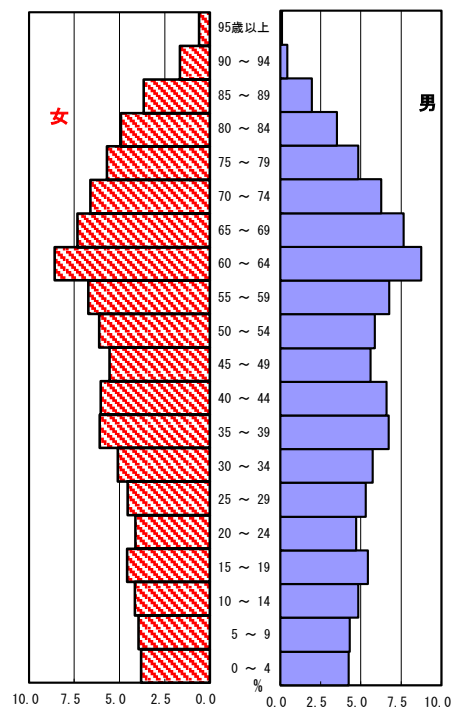


【管内の人口ピラミッド】

平成7年



平成25年



(オ) 管内市の人口構成(概数)

平成25年10月1日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～64 歳)	老年人口 (65歳以 上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
管内	173,094	21,828	102,881	47,987	8,332	8,765	4,731	5,179	27,007
伊賀市	93,849	11,454	54,524	27,707	4,323	4,560	2,571	2,847	14,301
名張市	79,245	10,374	48,357	20,280	4,009	4,205	2,160	2,332	12,706
三重県	1,829,063	244,169	1,095,570	477,152	92,382	98,403	53,384	54,779	298,948

\* 資料: 三重県戦略企画部統計課推計人口

\* 年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

平成25年10月1日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢 人口(15 ～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	12.6	59.4	27.7	21.2	46.6	67.9	219.8
伊賀市	12.2	58.1	29.5	21.0	50.8	71.8	241.9
名張市	13.1	61.0	25.6	21.5	41.9	63.4	195.5
三重県	13.3	59.9	26.1	22.3	43.6	65.8	195.4

○年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0～14歳)}}{\text{生産年齢人口(15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

○特徴

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は27.7%となっている。伊賀市では29.5%と三重県の値26.1%を上回っているが、名張市は25.6%と下回っている。

管内の年少人口指数については21.2と三重県の値22.3を下回っているが、老年人口指数46.6、老年化指数219.8と、いずれも三重県の値(老年人口指数43.6、老年化指数195.4)を上回っている。

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成24年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧 (実数、率) 各市別

平成24年1月1日～12月31日

	各市 (県・全 国)	人口	出生			低体重児(再掲)*1			死亡			乳児死亡(再掲)*2		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	125,957,000	1,037,231	531,781	505,450	99,311	45,060	54,251	1,256,359	655,526	600,833	2,299	1,222	1,077
	三重 県	1,838,611	14,729	7,492	7,237	1,307	577	730	19,210	9,934	9,276	48	21	27
	管内	175,023	1,359	708	651	116	51	65	1,969	988	981	2	0	2
	伊賀 市	95,243	702	366	336	61	28	33	1,236	610	626	2	0	2
	名張 市	79,780	657	342	315	55	23	32	733	378	355	0	0	0
率	全国		8.2	8.7	7.8	95.7	84.7	107.3	10.0	10.7	9.3	2.2	2.3	2.1
	三重 県		8.0	8.4	7.7	88.7	77.0	100.9	10.4	11.1	9.8	3.3	2.8	3.7
	管内		7.8	8.4	7.2	85.4	72.0	99.8	11.2	11.7	10.8	1.5	0.0	3.1
	伊賀 市		7.4	7.9	6.8	86.9	76.5	98.2	13.0	13.2	12.7	2.8	0.0	6.0
	名張 市		8.2	8.9	7.6	83.7	67.3	101.6	9.2	9.9	8.6	0.0	0.0	0.0
	率の算出方法		人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子出 生千対	女子 出生 千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対

\* 資料：三重県健康福祉部健康福祉総務課、人口は三重県：三重県戦略企画部統計課(平成24年10月1日現在推計人口)、全国：総務省統計局(平成24年10月1日現在推計人口)

\*1低体重児は出生体重2,500g未満 \*2乳児死亡は生後1年未満の死亡。

平成24年1月1日～12月31日

	各市(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	1,065	24,800	11,448	13,352	4,133	3,343	790	668,869	235,406	△ 219,128	
	三重県	15	319	152	167	62	50	12	9,006	3,237	△ 4481	
	管内	-	31	14	17	3	3	-	866	354	△ 610	
	伊賀市	-	17	6	11	-	-	-	465	183	△ 534	
	名張市	-	14	8	6	3	3	-	401	171	△ 76	
率	全国	1.0	23.4	10.8	12.6	4.0	3.2	0.8	5.3	1.9	△ 1.7	1.41
	三重県	1.0	21.2	10.1	11.1	4.2	3.4	0.8	5.0	1.8	△ 2.4	1.47
	管内	-	22.3	10.1	12.2	2.2	2.2	-	4.9	2.0	△ 3.5	1.46
	伊賀市	-	23.6	8.3	15.3	-	-	-	4.9	1.9	△ 5.6	1.44
	名張市	-	20.9	11.9	8.9	4.5	4.6	-	5.0	2.1	△ 1.0	1.48
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

\*資料: 三重県健康福祉部健康福祉総務課、厚生労働省大臣官房統計情報部

- ・△は減を示す。
- ・新生児死亡は生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
- ・死産は妊娠12週以後の死児の出生。
- ・自然増加は出生数－死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \sum_{\text{年齢}15}^{49} \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

(ア) 出生

管内の出生数は前年より18人増加し、出生率は7.8であった。市別にみると、名張市は県の値8.0を上回っているが、伊賀市は0.6ポイント下回っている。

(イ) 死亡

管内の死亡数は1,969人で前年より91人増加し、死亡率は11.2で前年より0.6ポイント上回っている。市別にみると、名張市は県の値を下回っているが、伊賀市は県の値を2.6ポイント上回っている。

(ウ) 乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年と同数の2名であり、新生児死亡数は前年より2名減って該当なしであった。

(エ) 死産

管内の死産数は前年より1名減の31名であった。

人工死産率は12.2で三重県の値を1.1ポイント上回っている。自然死産率は10.1で県の値と同値である。

(オ) 周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年より3名減少し、周産期死亡率は2.2で昨年の値を2.3ポイント下回っている。

(カ) 婚姻と離婚

婚姻件数は866件で前年より30件増加している。婚姻率は4.9で県の値を0.1ポイント下回っている。

離婚件数は354件で前年より70件増加した。離婚率は2.0で県の値を0.2ポイント上回っている。

(キ) 自然増加

管内の自然増加率は-3.5で県の値-2.4を1.0ポイント下回っている。

(ク) 合計特殊出生率

管内の合計特殊出生率は1.46で前年より0.05ポイント上回っている。伊賀市は1.44で前年を0.01ポイント上回り、名張市は1.48で前年を0.10ポイント上回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 各市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成24年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	1,044.8	1.5	278.6	13.4	7.6	150.3	104.4	14.9	99.2	13.7	1.3	10.2	21.6	76.4	40.9	20.1
	死亡者数	19,210	28	5,123	247	139	2,764	1,921	274	1,824	252	23	188	398	1,404	752	370
管内	死亡率	1,125.0	1.1	301.7	8.0	7.4	176.5	94.8	10.9	96.6	12.0	1.1	10.3	32.0	124.0	46.9	16.0
	死亡者数	1,969	2	528	14	13	309	166	19	169	21	2	18	56	217	82	28
伊賀市	死亡率	1,297.7	1.0	333.9	5.2	9.4	221.5	117.6	10.5	111.3	15.7	1.0	13.6	42.0	139.6	49.3	15.7
	死亡者数	1,236	1	318	5	9	211	112	10	106	15	1	13	40	133	47	15
名張市	死亡率	918.8	1.3	263.2	11.3	5.0	122.8	67.7	11.3	79.0	7.5	1.3	6.3	20.1	105.3	43.9	16.3
	死亡者数	733	1	210	9	4	98	54	9	63	6	1	5	16	84	35	13

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課



表3 各市別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成24年1月1日～12月31日

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	378.14	0.42	117.20	5.05	1.89	48.51	34.73	5.39	26.84	4.28	0.45	5.13	6.27	15.36	19.27	18.58
管内	372.39	0.25	118.71	2.65	2.06	52.79	28.13	5.04	25.36	3.41	0.32	4.93	8.53	23.22	21.52	14.79
伊賀市	385.80	0.14	126.87	1.98	1.95	56.79	31.92	2.63	23.28	4.14	0.36	6.50	9.25	22.22	22.24	12.96
名張市	357.45	0.44	110.86	4.03	1.99	45.43	23.13	7.59	27.55	2.47	0.27	2.90	7.07	25.43	21.30	17.22

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{[\text{観察集団の年齢} \times \text{歳(年齢階級)の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢} \times \text{歳(年齢階級)の人口}] \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口:昭和60年モデル人口の使用

表4 市別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成24年1月1日～12月31日(単位:人)

各市名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S 状結腸 移行部 及び直腸	肝及 び肝 内胆 管	胆のう 及び その 他の 胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血 病	その 他
三重県	計	5,123	142	768	444	215	390	244	423	1,077	156	85	105	1,074
	男	3,095	116	493	244	136	240	118	219	822	-	-	64	643
	女	2,028	26	275	200	79	150	126	204	255	156	85	41	431
管内	計	528	8	100	40	23	36	27	39	103	17	11	5	119
	男	318	8	67	22	12	22	14	19	74	-	-	2	78
	女	210	-	33	18	11	14	13	20	29	17	11	3	41
伊賀市	計	318	5	56	22	14	23	19	24	64	12	8	3	68
	男	195	5	36	12	11	14	11	12	45	-	-	2	47
	女	123	-	20	10	3	9	8	12	19	12	8	1	21
名張市	計	210	3	44	18	9	13	8	15	39	5	3	2	51
	男	123	3	31	10	1	8	3	7	29	-	-	-	31
	女	87	-	13	8	8	5	5	8	10	5	3	2	20

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

## ○ 特徴

管内の死因順位では、第一位悪性新生物528人(総数に占める割合26.8%)、第二位心疾患309人(同様に15.7%)、第三位老衰217人(同様に11.0%)である。これら3大死因の総数に占める割合は53.5%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内372.39であり、主な死因別では悪性新生物、高血圧性疾患、心疾患、腎不全、老衰、不慮の事故がそれぞれ県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「結腸」「気管・気管支及び肺」で46.0%を占めている。